

くろしまの図

Welcome to KUROSHIMA

黒島は佐世保北九十九島にある有人島の一つです。周囲約12km、面積5.3平方km。黒島全域が国の重要な文化的景観。島の8割がカトリック信者ですが、お寺もあります。島にはバスもタクシーもありません。ゆっくり歩いて回るのも魅力のひとつです。意外とアルコールが大好きですが、気持ち良い国とおいしい空気をたっぷり味わって下さいね。


豆知識
長崎県は都道府県の中で一番島が多く、その数971。そのうち佐世保北九十九島は、208の島があります。

藤展望所
季節の花が咲く見晴らしの良い展望所です。お天気が良いと左手に崎戸町、右手に上五島が見え軍艦や大型旅客船などが通ります。

黒島の名物料理

「ろくろ饅頭」
小麦粉で作った生地コアンを入れ、カキの葉っぱに巻いて、せいろで蒸した島のお母さんの家庭料理です。

「黒島豆腐」
にがりの代わりに黒島の海水を使って作ります。こちらもおなじく家庭料理。大きなかまどで作る豆腐は少し塩味がして固め。どちらもお祭りなどの時に作ります。



豆知識
「黒島」と呼ばれる島は、全国で二番目に多い971。一番目は77の「大島」、三番目は57の「高島」です。

本村のかっぱ塚
黒島にはカキの殻がいたという昔話が残っています。いたずらをしないようにと約束させられた石塚を建てたとのこと。川はなれいので海から来たと言われるカキの殻は海賊のごちだったのではありませんか。

黒島神社
境内には黒島に唯一残る自然林があり、秋になると「黒島くんち」が行われます。

名切砲台跡
1945年アームストロング式砲台が洞窟跡に造られました。侵入してきた敵艦を小佐々の特殊部隊が挟撃するため、砲台は平戸方面に傾いていました。今は洞窟が残るだけです。

修道院
1880年「黒島愛善会」として設立されました。現在は数人のシスターが暮らしています。建物内の見学はできません。

信仰復活の地 (旧出口邸)
1864年大浦天主堂に信仰の告白をした出口吉太夫、大吉親子でしたが洗礼は無効と判断されてしまいました。そこから島民たちのカトリック信仰復活への道が始まりました。

根谷アコウの木
根谷のアコウは根っこを切られたことで、沢山の気根が出ています。アコウはクワ科。果実はイチジクに似て食べられるそうです。

根谷の大きざんか
(佐世保市指定天然記念物) 生活に必要な油を採取するため、潜伏キリシタンが持ち込んだ野生種。樹齢350年と言われています。



Cafe 海味・イルドの泉
黒島の美味しい天水が飲めます。天水で作った焼酎「黒島」もおすすの!! コーヒーや軽食もご紹介します。休憩、工場見学もお気軽にどうぞ!



カトリック共同墓地
1880年初めて共同の墓地ができました。入って右下方にはマルマン神父や数人の日本人神父、子供たちのお墓があります。並んだ墓石の美しさは黒島ならでは。



黒島天主堂 (国の重要文化財)
1900年フランスのマルマン神父が設計。献身的な信徒たちの協力労働奉仕によって建てられました。マルマン神父は多くの教会を建てましたが現存している教会はここだけです。

黒島の特産品

「黒島御影石」
黒島の御影石は自質で、黒島天主堂や墓石をはじめ、長崎港、諏訪神社などに利用されています。御影石が風化すると黒島特有の赤土になります。